

平成12年度 研究集録

「豊かな人間性を育てる特別活動－新学習指導要領の導入にともなって－」

◎ 平成12年度 研究方針

1 はじめに

- ・ 新学習指導要領では、「社会性を育成する」ことを強く求めている。
- ・ 「総合的な学習の時間」との関連を考えるとともに、限られた時間の中で、特別活動のねらいである「集団の一員としての自覚」「協力してよりよい生活を築こうとする」を達成できる具体的な活動の在り方を探る。

2 研究の具体化

(1) 各部の研究成果から

- ・ 学級活動の時間では、学級、学校生活の充実・向上を図る内容の指導に重点
- ・ 児童会・生徒会活動・学校行事・クラブ活動では、総合的な学習の時間と連携した内容を研究
- ・ 学級活動の生き方指導・学業指導等では、ガイダンスの機能を充実させるための指導の在り方を研究
- ・ 特別活動と総合的な学習の時間の特質を生かした連携の在り方を工夫する必要

(2) 今年度の実践研究部の構成と内容

◎ 第1部会（小学校学級活動）の取り組み

- 解説＜学級集会活動について＞
- 実践1 「名しこうかん会」をしよう（小3）
- 実践2 ミニ誕生会を開き、一人一人の誕生日をお祝いしよう（小6）
- 実践3 思い出に残るお別れ会を開こう（小6）
- 実践4 学校公園でスコアオリエンテーリング大会をしよう（小5）
- 実践5 ドッジボールで6年生と対決しよう（小5）
- 実践6 学級オリンピック大会をしよう（小5）
- 実践7 学級オリンピック大会をしよう（小5）
- 実践8 みんなで楽しめるスポーツ大会をしよう（小6）
- 実践9 手作り遊び集会をしよう（小6）
- 実践10 係活動の発表会をしよう（小5）
- 実践11 年忘れ集会をしよう（小4）

◎ 第2部会（児童会活動）の取り組み

- 解説＜これからの児童会活動＞
- 実践1 みんなが仲よくなるような全校集会をしよう
- 実践2 学区ウォークラリーを盛り上げよう
- 実践3 縦割り遠足でオリエンテーリング！

◎ 第3部会（中学校）の取り組み

- 解説＜特別活動の実践の中に“ガイダンスの機能の充実”を取り入れて＞

- 実践1 生き方を探求し、実践できる生徒の育成（3年間）
- 実践2 学習に意欲的に取り組む生徒の育成（中2）

◎ 第4部会（クラブ活動、学校行事、総合的な学習）の取り組み

- 解説＜学校行事と総合的な学習の関連について考えよう＞
- 実践1 中津川野外教育の感動を伝えよう（小5）
- 実践2 矢田川についてもっと知ろう（小6）
- 実践3 香流川とわたしたち（小6）
- 実践4 自分でつくる修学旅行－「MY TRIP」をとおして－（小6）
- 実践5 思い出いっぱいの修学旅行にしよう（小6）
- 実践6 手をつなぐって楽しいね！ふれあい遠足（上学年）
- 実践7 中津川子ども王国をつくろう（小5）
- 実践8 世界でたったひとつの劇を作ろう！（小4）
- 実践9 「オアシスの森」がこんなだったら楽しいな（小4）
- 実践10 学区の歴史を発表しよう（小4）

◎ 第5部会（特活入門部）の取り組み

- ・ 学級活動を中心にして、特別活動の基礎・基本について研さんを深めていく
- ・ 日常における指導上の悩みの解決に向けて話し合ったり、同じ題材で授業実践したことを報告し合ったりすることなどを通して、特別活動の基礎・基本について学び合っていく

- 1 活動の経過
- 2 活動の様子
- 3 会員の声から
- 4 おわりに

◎ 調査研修部

- ・ 学級活動と総合的な学習との関連、児童会・生徒会活動について市内小中学校の現状について調査し、情報を今後の活動に役立てる

- 1 学級活動と総合的な学習
- 2 児童会・生徒会活動

◎ 後記

委員長 鈴木 勝彦

- ・ 好ましい人間関係の醸成、ガイダンス機能の充実などに加え、社会性の育成を実践課題として取り上げ、指導の充実や改善すべき点、特別活動の基礎・基本となる学力等を検討してきた。
- ・ 総合的な学習との違いや望ましい関連の在り方を考えるとともに、特別活動の本来のねらいの達成に向けた具体的な活動の在り方を探ってきた。
- ・ 2年間の実践研究にもかかわらず、課題が山積している。今後もさらに実践や議論を積み重ねる必要がある